

会 議 結 果 概 要

会 議 の 名 称	令和6年度古河市総合計画審議会
開 催 日 時	令和6年8月29日（木） 午後1時30分～午後3時05分
開 催 場 所	古河市役所 総和庁舎3階 特別会議室
出 席 者	<p>（委 員）川島宏一（会長）、宮本京子（副会長）、小川久雄 落合美代子、小林登美子、小林康行、下村宏幸、関克己、 田口義文、竹村祐子、蓮見公男、渡邊澄夫、渡辺智江</p> <p>（事 務 局）企画政策部：綾部部長 企画課：栄田課長、羽部副参事、田中係長、鬼ヶ原主幹、 諏訪主幹</p>
議 題	<p>（1）第2次古河市総合計画（古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略） に基づく実績及び今後の方向性</p> <p>（2）地域再生計画の進捗管理</p>
審 議 の 内 容	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 委嘱状交付 4. 委員紹介 5. 議題</p> <p>（1）第2次古河市総合計画（古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略） に基づく実績及び今後の方向性 事務局より説明を行い、その後、質疑応答を行った。 [主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターで実施しているこどもの一時預かりについて、利用可能時間を広げるなどしたうえで公立保育所で代替できるとよい。 ・甘露煮が100年フード認定を受けたので、これを機にふるさと納税での宣伝を強化するなど行政でリーダーシップを取ってアピールすべき。 ・災害協定などの連携協定については、締結後に何をすることが大切であり、協定に基づく具体的な取組を実現すべき。 ・閉館となった老人福祉センターに替わる施設について計画に反映されているのか。今後は孤立老人へのサポートが必要となることから、行政としてこの課題に取組む拠点を設置するなどの姿勢を見せるべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国との交流を深める海外派遣など、青少年交流の事業をさらに進めるべき。 ・ネーブルパークのキャンプサイトの数や、宿泊に伴う浴場施設の運用について利用者目線に立って見直しを図るべき。 ・給食費の無償化は継続的に実施するべき。 ・児童クラブについては老朽化が激しく、施設自体が狭い箇所もあるため環境整備を進めるべき。 ・駅周辺の活性化について、空き店舗活用として若い人が集まる魅力的な店舗の出店を目指すべき。 <p>(2) 地域再生計画の進捗管理 事務局より説明を行い、その後、質疑応答を行った。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税については銀行や税理士等の協力を得て、税制の説明等を行う機会を設ける等できるとよい。 ・企業版ふるさと納税については目標額を設定するべき。 <p>6. 閉会</p>
問 合 せ 先 (事 務 局)	古河市役所 企画政策部 企画課 企画調整係 電話 0280-92-3111 (内線 : 2122・2123)
備 考	